



渡辺 芳勝  
(市民の声)

### 高齢者の認知症発症状況は

**質** 認知症の発症状況と認知症患者を抱えている家族からの相談等にご対応しているか。合併時と現在の要介護認定者数、介護サービスの利用状況はどうなっているか。

**答** 11月末で要介護・要支援認定者の約6割に認知症が認められる。家族からの相談へは地域包括支援センターで対応している。合併時との比較で要介護認定者数は324人、10・8%増で介護サービスの利用状況は、居宅サービスは14・2%、地域密着型サービスは31・6%の増加だが施設サービスは2・7%減少している。

### 学校給食等、民間委託実施後の状況は

**質** 給食調理員、運転技士、学校校務員、学校事務員にかかわる人事管理、事務量はどうか変わったか。また、調理場等での業務指示は労働者派遣事業、請負区分に法的にどうか。

**答** 委託により、パート雇用調理員、学校校務員等の賃金の支払い等を委託先で事務処理をすることで、教育委員会の事務量は減少している。また労働者の配置、変更の指示、就業時間、残業、欠勤等の管理等を委託者が行うなど、委託者が雇用する労働者をみずから直接利用しており、法に違反しないものと考えている。

#### その他の質問事項

- ・当面する農政課題
- ・生活道路、排水設備等の整備



中田 満  
(大河・生々・みどりの会連合)

### 地域主権と地方のあり方

**質** 民主党のマニフェストで、地域再生の政策で特に強調されている①地域主権の確立、②国と地方の協議の制度化③地方の自主財源に転換についての市長の受けとめ方は。

**答** ①具体的内容の情報収集に努め、地方の意見を積極的に発信したい。②こうした機会を活用し、積極的に地方の声を届け、活性化につながる地域主権を実現したい。③税源移譲と地方交付税制度改革により、地方が自由に使える財源をふやし、国と財政的に対等な関係となり、地方の自立が促進されることがより望ましい。

### 基幹産業である農業問題

**質** 恵まれた環境を生かし「攻めの農業」へ私の提案①東北地区を21世紀型食糧基地に②農業を自由化した経済特区に③港を活用し世界に開かれた日本農業のモデルの提言への考えは。

**答** ①他の地域で敬遠される手間のかかる品目の取り組みが新たなチャンスであり、地域活性化に結びつくと考え②株式会社なども農業参加が可能であり、当分はどのように活用されるのかを注視して特区の必要性を考えたい③能代港を活用し、環日本海に目を向け、能代の農産物や木材製品等の売り込みに努力したい。

#### その他の質問事項

- ・能代港利活用のための決断と行動
- ・リサイクル港の市長のビジョン
- ・こでん回収試験の取り組みと具体策



菅原 隆文  
(よねしろ会)

### 二ツ井・荷上場地区簡易水道整備事業

**質** 待望の上水道事業。追加の加入要望による事業費等の影響は。認可外地域へも加入推進を。自己負担分の捻出に、特に個人井戸の地域へ、積み立て方式等の具体的な指導を。

**答** 整備計画は、給水人口の増に伴い、事業費や水道料金への影響が考えられるが、事業経営認可の中で検討したい。事業認可外地区は当該地区の加入回答が低く、計画変更で整備地区とするには難しいと考えるが、今後の状況変化で検討したい。個人負担は、関係水道組合等、組織的な積み立てを行うよう提案したい。

### 風力発電プロジェクトの可能性に期待

**質** 1,000基の風力発電を県の海岸線に設置し、日本一の風力発電基地を造る「風の王国プロジェクト」計画。環境型産業の起業と雇用・能代港活用など期待。市も積極的なかわりを。

**答** この構想の実現には、採算性や資金確保、環境面での課題等多くの問題を抱えている。一方、風車の設置・製造・メンテナンスに伴う雇用創出や港湾利活用、環境関連産業の誘致、地球温暖化対策への貢献など、波及効果も期待できる。市ではこのプロジェクトの動向を注視しながら情報収集に努めていきたい。

#### その他の質問事項

- ・「夢の教室」の効果と今後の計画
- ・県の少子化対策事業化と市の対応